福島大学
うつくしまふくしま未来支援センター

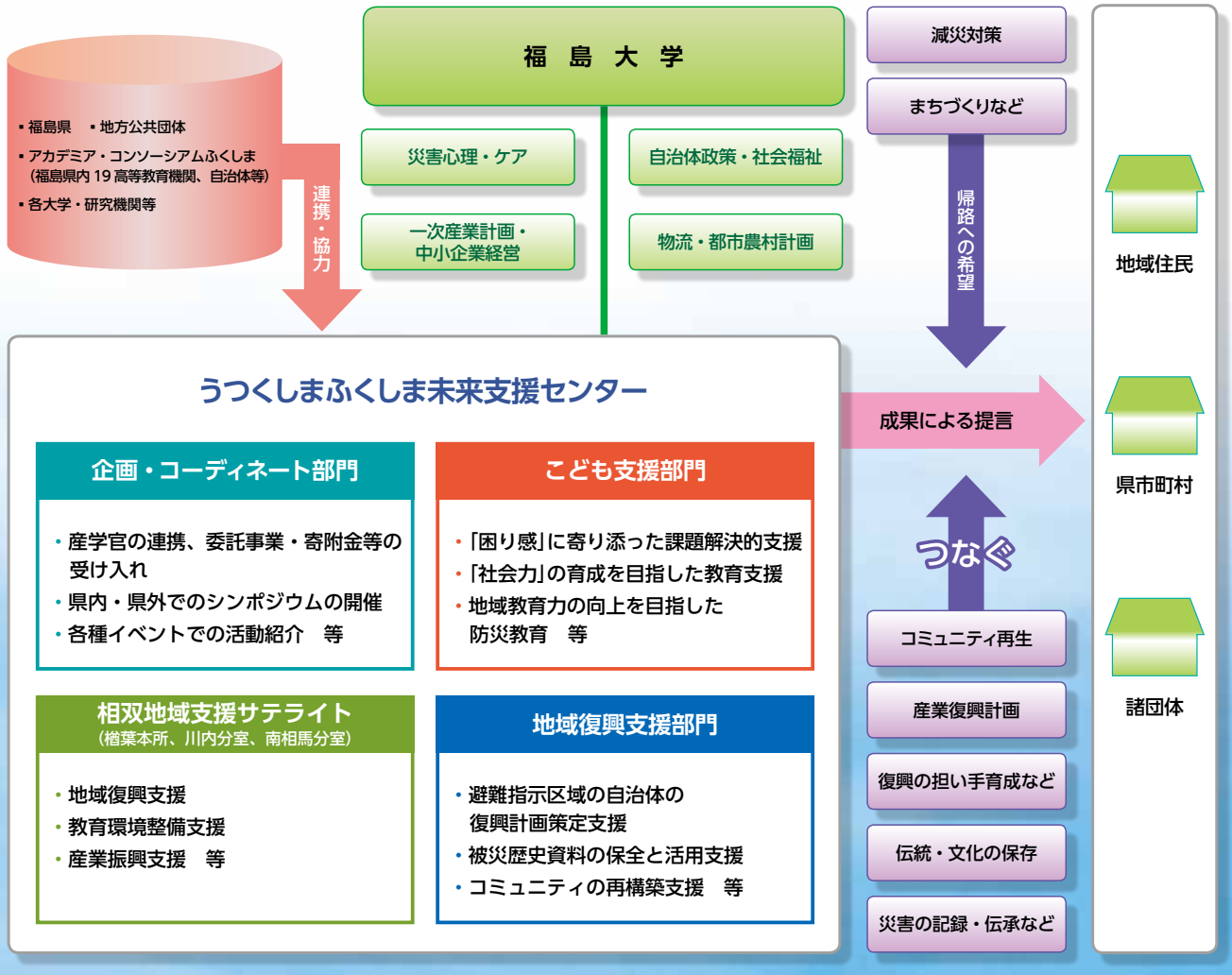
Fukushima Future Center for Regional Revitalization

うつくしまふくしま未来支援センターは、３つの部門と相双地域支援サテライト（楢葉町［本所］、川内村、南相馬市）を配置しています。
地域の復旧・復興に寄り添う「支援センター」として実践的な活動を展開しています。

FURE
うつくしまふくしま未来支援センター

Fukushima Future Center の FU と Regional Revitalization の RE から作られています。「フレ」と呼び、「フレ！フレ！Fukushima」という意味が込められています。福島県は多重災害により様々な問題を抱えていることからあえてシンプルなデザインにしました。F は緑色とし、県土の 70% を占める“森林”を表しています。U は茶色とし、福島県の“豊かな大地”を表しています。R は水色とし、福島県の“ほんとの空”、そして“水産資源が豊富な海”を表しています。E はピンク色とし、福島県民、特に子どもたちの“未来、夢”を表しています。

センター概略 （令和元年度）



各部門活動内容

企画・コーディネート部門 ▶P14～P15

被災自治体の要望等を把握し、福島大学が有する人的・知的資源とのコーディネートを行います。また、復興支援活動における産学官の連携や国・被災自治体等からの事業の受託、民間団体からの寄附金受入れ等を行います。さらに、県内外でシンポジウムを開催するほか、各種イベントにおいてＦＵＲＥの活動を紹介しています。

こども支援部門 ▶P16～P17

被災により課題を抱えた子どもや保護者に対して、継続性・専門性を生かしながらきめ細かな課題解決的支援を行うため、「相談室ほっとルーム」や「学びの場ほっとルーム」を開室します。また、将来を担う子どもたちの「社会力」の育成を目指し、支援活動から得た「支援知」を生かしながら「自分探しの旅に出かけよう」等の教育支援プログラムを実施します。さらに、地域教育力の向上を目指し、被災による「経験知」を活用しながら防災教育教材開発や防災教育活動を行います。

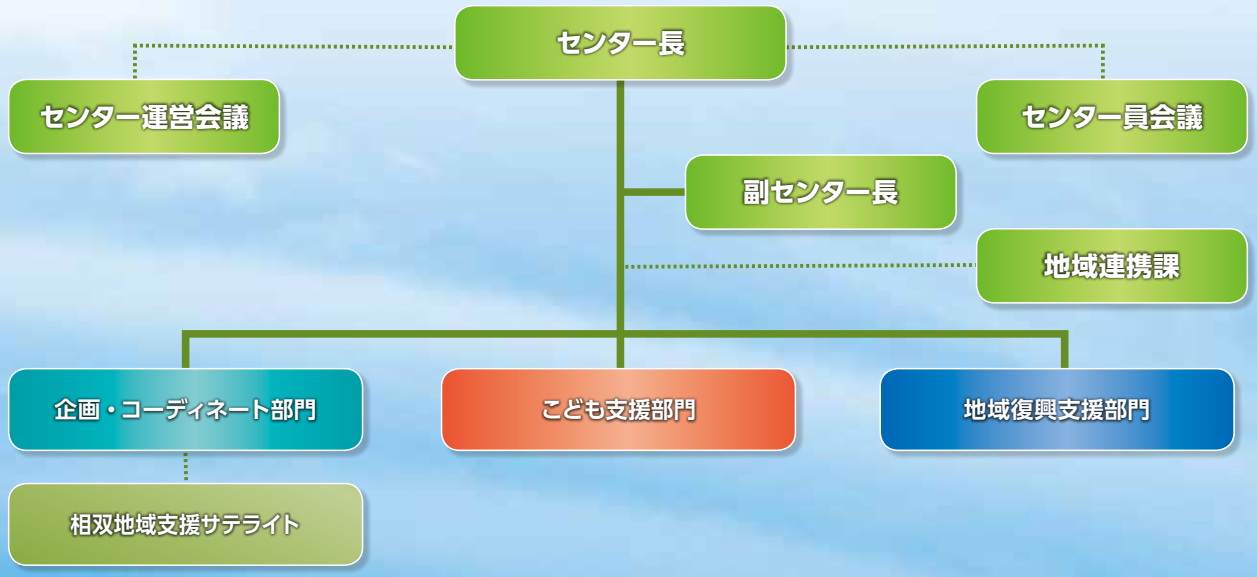
相双地域支援サテライト ▶P14～P15

相双地域と大学とを繋ぐ現地の拠点として活動しています。地域再生を目指し、コミュニティ再生や教育環境の整備など、住民に寄り添ったソフト面の支援を行います。また大学が持つ知見を活用した農業再生支援や、住民と行政・自治体間の連携促進に向けた取り組み等を行います。楢葉町（本所）のほか、川内村、南相馬市に支所を有しています。

地域復興支援部門 ▶P18～P19

避難指示区域自治体の復興計画策定や実現に向けての支援、復興まちづくり事業の推進のための支援を行います。また、有形文化財の保護活動や、文化財を活用したまちづくり、東日本大震災関連資料の収集・保存や活用に向けた活動を行います。さらに、仮設住宅・災害公営住宅におけるコミュニティの構築についての調査研究を行うとともに、福島県での教訓を教材とした防災教育の開発や発信を行います。

センター組織図 （令和元年度）



うつくしまふくしま未来支援センターの1年のうごき

2019年度のうつくしまふくしま未来支援センターのうごきをダイジェストでお伝えします。

7月10日・11日／環境放射能除染学会
研究発表会

7月12日～／防災リーダー育成プログラム

8月4日／東京大学にて「さすけなぶる」
体験講座を開催

2019

［3月］

○こども支援プログラム「自分探しの旅に出かけよう」実施（19日～22日）

［7月］

○第11回福島県内大学等復興支援センター連絡会開催（3日）

○環境放射能除染学会研究発表会（福島）出展（10日・11日）

○第3回防災リーダー育成プログラム開講（12日以降継続実施）

○かわうち100%フェア（川内村産の農産物販売）に協力（24日）

○コープあいち視察研修受入（31日）

［8月］

○東京大学にて「さすけなぶる」体験講座を開催（4日）

○熊本県「防災教育講習会」にて「『社会力』の育成を目指した防災教育」について講演（7日）

○京都大学iPS細胞研究所との共催シンポジウム「未来をひらく科学の可能性～iPS細胞研究者が語る夢を叶える力～」を郡山市で開催（20日）

［9月］

○全国大学生活協同組合連合会視察研修受入（10日）

○さすけなぶるファシリテーター養成講座 in 福島開催（21日以降継続実施［全3クール］）

［10月］

○令和元年東日本台風（台風19号）が日本上陸（12日）

○学生団体「福島大学災害ボランティアセンター」等による被災地へのボランティア活動を実施（13日以降継続実施）

○NPO法人「FUKUSHIMAいのちの水」と連携し、被災地（相馬市）へ飲料水（ペットボトル5000本）を送付（18日）

8月20日／京都大学 iPS細胞研究所との
共催シンポジウム

9月10日／全国大学生活協同組合連合会
視察研修

9月21日～／さすけなぶるファシリテーター養成
講座 in 福島

10月24日表彰式／そうそう花プロジェクト

10月30日･31日／リーフふくしま2019

11月30日／防災リーダー育成プロジェクト

2020

○ぼうさいこくたい２０１９@名古屋出展（19日・20日）

○「そうそう花プロジェクト」の活動が第29回全国花のまちづくりコンクールにおいて努力賞受賞（24日表彰式）

○ふくしま再生可能エネルギー産業フェア（リーフふくしま２０１９）出展（30日・31日）

11月

○さすけなぶるファシリテーター養成講座in東京開催（２日以降継続実施「全３クール」）

○かわうち１００％フェア（川内村産の農産物販売）に協力（７日）

○令和元年東日本台風（台風19号）による被災地（伊達市）において、こどもの遊び支援を宮城教育大学と合同で実施（９日）

○「防災リーダー育成プロジェクト」として、大阪府・熊本県の中・高校生とともに避難所運営模擬体験を実施（30日）

1月

○相双地域支援サテライト共催特別講演会「島耕作からみる地方創生とは」をJヴィレッジで開催（19日）

○相双地域支援サテライト主催「食育ワークショップ・フードコンシャスネス講座」を楢葉町で開催（25日）

2月

○第３回福島県環境創造シンポジウム（三春）出展（２日）

○シンポジウム「ほんとの空が戻る日まで～被災地域におけるコミュニティの再生～」を富岡町で開催（13日）

○第12回福島県内大学等復興支援センター連絡会開催（21日）

○国際基準の人道支援と災害対応を考えるシンポジウムを福島市で開催（28日）

3月

○アレルギーにも配慮した非常食づくり市民講座を福島市で開催（１日）

1月19日／相双地域支援サテライト共催特別講演会

1月25日／食育ワークショップ・フードコンシャスネス講座

3月1日／非常食づくり市民講座